

神奈川歯科大学附属病院

ニュースレター

2023年9月1日発行 10号

附属病院でオープンキャンパスを開催



数年前まで120万人だった18歳人口は、現在110万人。2022年に生まれた子供の数から、2040年は80万人以下になることが確定しています。医療費や介護費用の負担が現役世代を大きく圧迫することも問題ですが、同時に医療人の育成拡大も重要です。中でも歯科医師の需給バランスが大きく崩れることは必至であり、本学もその対策に積極的に取り組んでいるところです。その一環として、今年度より育育機関でもある当院を主体としたオープンキャンパスを開催して、次世代を担う若者たちに、職業人としての歯科医療の重要性・魅力を実感していただいております。

オープンキャンパスの参加者：7月23日(日) 28組
8月6日(日) 33組
8月27日(日) 27組

2023年度オープンキャンパス	
日程	未校型内容
9月3日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学案内 ・特別講義 ・歯科医師体験実習 ・病院見学 ・資料鑑賞 ・入試対策講座 ・在学生との懇談会 ・面接体験
10月1日(日)	
11月5日(日)	
2024年3月24日(日)	

詳細は歯学部 HP をご確認ください。



Welcome to
KDU Open Campus!



病院長 井野 智
(有床義歯補綴学・教授)

Thank You for Coming to KDU!



院内レポート Pickup !

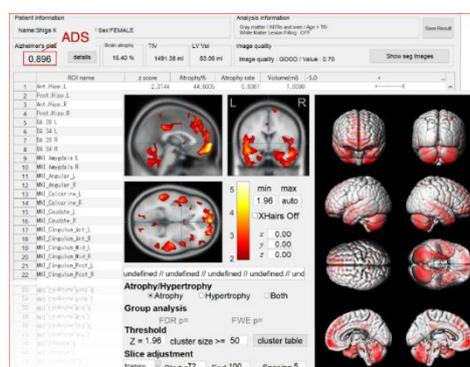
人工知能 (AI) による認知症診断をしています

画像診断科 診療科教授 池上 匡



皆さんはアルツハイマー病 (AD) などの認知症に、自分がかかってしまうのではないかと心配ではないですか？私も自分の母の認知症を診断して友人に治療をお願いしましたが、最終的には介護施設のお世話になりました。もっと早く診断する方法があれば、ほかにもできることがあったのではないかと思います。AD になってしまってからでは、残念ながら現在の医療では回復させることができません。将来 AD に進行する軽度認知障害(MCI)の段階で診断をして、早めにその進行を遅らせる方法を試して行きたいと思います。私たちの診断方法はまず通常の MRI で脳の画像を撮影します。その画像を、AD などの病気を診断できるように数多くの症例で訓練された AI を使ったパソコンソフト(BAAD 医療機器認証番号 303AGBZX 00065000)で解析して、受診者の AD 危険度を判定します。危険度 50%から AD に進行する MCI と診断されます。70%以上は AD である可能性が高くなります。逆に 50%以下の方は現時点で正常または AD に進行しない MCI と判断できます。認知症が気になる方は、当院の脳ドックを受診していただければ BAAD の結果について私が御説明いたします。

BAAD は、私の知る範囲では近隣では行われていない解析方法です。



矯正歯科治療。検査・診断の重要性。

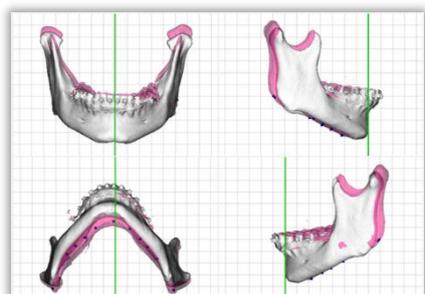
矯正歯科 教授 山口徹太郎



矯正歯科での診察は最初、初診相談からになります。咬み合わせを拝見させていただき、どのような状況にあって、どのような治療の可能性があるか、お話をさせていただきます。

しかし、咬み合わせを拝見させていただきただけでは、正確な治療方針は決めることができません。それぞれの歯の形、大きさ、位置であったり、歯が植わっている骨の状況であったり、さまざまな情報が必要です。その情報は検査によって得ることができます。言い換えれば、正確な検査、精度の高い検査は、より正確な治療方針につながります。

- ① 口腔内・顔面写真を撮影します。歯の形態や歯列、かみ合わせの状態の確認をします。正面と側面の顔の写真を撮影し、顔の形やバランス、左右対称性、および口唇閉鎖時（くちびるを閉じたとき）の顔の筋肉の緊張などを確認します。
- ② パノラレントゲン、セファロと呼ばれるレントゲンを撮影します。必要に応じて、手のレントゲンやエックス CT を撮影する場合があります。三次元再構築して、埋伏歯（まいふくし = 骨の中に埋まっている歯）の位置の確認や顎の変形をみたりします。
- ③ 歯列の状態を正確に評価するために、粘土状の物質を使って、上下の歯列の印象を採って、歯型を作ります。口腔内の様子を小型カメラで撮影して立体画像化することもあります。



エックス線 CT も多くの有益な情報を得ることができます。

他にも顎の運動や口の周りの筋肉の働きであったりも、検査したりします。これらの情報をもとに、分析と診断、すなわち治療の進め方や矯正装置の選択などが行われます。

当科では、最新の技術と専門知識を駆使し、患者さんの個別のニーズに合わせた矯正歯科治療を提供しています。ご希望を最優先に考え、丁寧かつ効果的な治療を提供しています。お気軽にご相談ください。

摂食嚥下外来：食べる喜びをサポート

障がい者歯科 教授 小松知子



超高齢社会において、地域包括ケアシステムが充実し、高齢者も障害者も住みたい/住み慣れた地域で安心して、楽しく、共に生きるための様々な制度が整ってきています。そのような状況で、高齢者、障害者の疾患の多様性に食べる機能を支援する歯科医療の重要性が高まっています。特に高齢者の要介護状態への負の連鎖につながるオーラルフレイル・フレイル予防、要介護状態にある方では、生命に危険が及ぶ誤嚥性肺炎の予防への対応が必要です。

このような地域歯科医療のニーズに応えるために、当院、摂食嚥下外来では食べることに問題・困難がある患者さんの診察、検査、訓練を行なっております。嚥下機能検査は嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査、さらに嚥下指導室などの神奈川県でも有数の充実した設備を完備しており、食べる喜びを実感できる摂食嚥下リハビリテーションの提供を常に心がけております。また、来院できない患者さんのオンラインでの相談も行なっております。今後さらに、かかりつけ歯科と密な連携を取りながら、患者さんの「口から食べる喜び」を支援し、健康寿命の延伸を目指しております。

詳細は折り込み資料をご覧くださいまして、ご相談・ご連絡をお待ちしております。



嚥下内視鏡画像



嚥下造影検査画像

睡眠時無呼吸症候群：生命を脅かす疾患

いびきと睡眠時無呼吸外来 教授 有坂博史



睡眠時無呼吸症候群（OSAS）は、いびきや呼吸停止だけでなく日常生活の質（Quality of life）の低下や重大な交通事故を引き起こす原因となります。さらに狭心症、心筋梗塞、脳卒中、糖尿病など生命そのものを脅かすような重症疾患のリスクを高めます。また近年、クローズアップされているのが認知機能との関係です。血管性認知症だけでなく、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症の発症リスクも高まることが報告されています。睡眠時無呼吸の治療により、これらの認知症の発症を数年から10年ほど遅らせることができることが指摘されています。当院の認知症・高齢者総合内科（もの忘れ外来）と連携し、認知症の早期の予防に努めています。

これら睡眠時無呼吸が関与している全身疾患の発症を予防し、患者さんの健康寿命を延ばすことが、当外来の本来の目標です。治療は、最初に一泊入院による精密な睡眠検査（PSG検査）を行い病気の状態を正しく評価・診断します。検査結果によりCPAP（鼻にマスクを着けて空気を送り込み、上気道の閉塞を防ぐ方法です。毎月の受診が原則。）と口腔装置（マウスピースを応用したもの。効果的で、長期に使用していただけるような口腔装置の作成を義歯診療科・歯周病診療科にお願いしています。）により治療を行っています。

また横浜クリニック矯正歯科と協同で口腔機能療法（MFT）による睡眠時無呼吸の根本治療の研究に取り組んでいます。

待ち時間を可能な限り短くすることに、スタッフ一同で努力しております。



CPAPを装着



2023年度 病診連携オープンセミナー

	日時	所属・演者	講演タイトル
	10 2023年9月14日 17:15~18:00 (木)	顎・口腔インプラント科 教授 河奈 裕正	インプラントの手術併発症とその対応 ～神経損傷と出血を中心に～
	11 2023年9月28日 17:15~18:00 (木)	小児歯科 教授 木本 茂成	小児歯科臨床のコツ ～泣かせない子どもの浸潤麻酔～
	12 2023年10月12日 17:15~18:00 (木)	口腔外科 教授 小林 優	筋性疼痛の診断と治療 ートリガーポイント注射の実際ー
	13 2023年10月26日 17:15~18:00 (木)	歯周病診療科 教授 小牧 基浩	創傷治癒の最適化のために知っておきたいバイオロジー
	14 2023年11月9日 17:15~18:00 (木)	障がい者歯科 教授 小松 知子	健康長寿を実現する”口から食べる”医療の最前線
	15 2023年11月30日 17:15~18:00 (木)	歯科麻酔科 教授 讃岐 拓郎	歯科医師のための生体情報モニター入門
	16 2023年12月14日 17:15~18:00 (木)	口腔外科学 准教授 鈴木 健司	これって口腔外科に送るべき？ 粘膜疾患の診断・治療と勘所:口腔カンジダ症編
	17 2024年1月11日 17:15~18:00 (木)	腎臓内科 教授 橋本 達夫	高血圧治療補助アプリの登場 ～高血圧治療は医者いらずに？～
	18 2024年1月25日 17:15~18:00 (木)	デジタル歯科診療科 教授 星 憲幸	歯肉圧排の謎・デジタル時代における歯肉圧排のポイント
	19 2024年2月8日 17:15~18:00 (木)	保存・修復診療科 教授 向井 義晴	ホワイトニングと再石灰化戦略
	20 2024年2月22日 17:15~18:00 (木)	全身管理高齢者歯科 教授 森本 佳成	認知症高齢者の歯科診療時の管理
	21 2024年3月14日 17:15~18:00 (木)	病理診断科 診療科教授 窪田 展久	病理診断依頼の実際 ～依頼先に口腔病理医がいるとは限らない～

場 所：神奈川歯科大学附属病院 12 階講堂

参加費：無料（事前の申し込みも不要）

* 当日は参加者確認のため Google フォームで参加確認を取らせていただきますので、スマートフォン等 QR コードが読み取れるものをご持参ください。

* 日本歯科医師会 生涯研修制度の単位が取得できます。希望される先生は生涯研修カードあるいは携帯電話（QR コードの読取対応）をご持参ください。

お問合せ先：地域連携室 046-822-8877

地域連携室から

神奈川歯科大学附属病院では地域連携室で他医療機関からのご紹介や患者様からのご相談、予約管理に対応させていただきます。

お気軽にご相談下さい。

〒 238-8570

横須賀市小川町 1-23

神奈川歯科大学附属病院 地域連携室

電話 046-822-8877

FAX 046-822-8888

<http://www.kdu.ac.jp/hospital/>

